

表紙のモデル



墨書人面土器(ぼくしょじんめんどぎ)

時期:平安時代前期

出土遺跡:市川橋遺跡(宮城県多賀城市)

寸法:(高さ)16.2cm(口径)15.5cm(底径)7.0cm

古代には、墨で顔を描いた土器に罪(つみ)や穢れ(けがれ)を封じ込め、河川に流す儀式が行われたといわれています。本資料が発見された市川橋遺跡は、古代の役所である多賀城に近いことから、多賀城の役人あるいは城下に住む人々が、周囲の河川でこの土器を用いた儀式を行ったのかもしれない。

本資料の特徴は、土器の表面を正確に4分割したうえで顔が4面描かれており、髭の様子や表現に違いがあることです。墨書人面土器は全国的に数多く発見されていますが、本資料の表現は特に端正で、全国的に有名なものです。(東北学院大学博物館蔵)

バックヤードのひとこま



こ…こやつは
もしや…!



いきなり何かの舞を踊り始めたM氏…



もしもーし。
頭抱えてどうしたの?

東北学院大学博物館 情報誌

OTAKU みゆーしあむ

オタクな展示、お宅にいかが?

東北学院大学博物館 情報誌

OTAKUみゆーしあむ

オタクな展示、お宅にいかが?

タイトルの由来

東北学院大学博物館が開催するユニークなイベントや所蔵する“ちょっとマニアック?”な資料を紹介する雑誌であり、ご自宅で読んで楽しめる雑誌を目指し、このタイトルにしてみました。

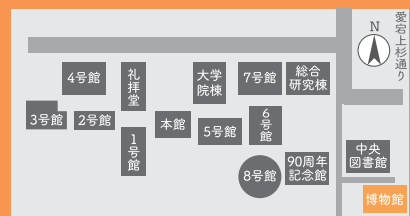
発行日 2021年3月15日

編集・発行 東北学院大学博物館

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL:022-264-6920

<https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum>



- 東北学院大学土樋キャンパス内 中央図書館南側
- 地下鉄「五橋駅」下車、愛宕上杉通りを南向きに徒歩5分
- 来館者用駐車場あり(愛宕上杉通り側から)



2020.4～ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応

新型コロナウイルスの感染拡大による大学の閉鎖に伴い、2020年4月3日から5月末まで博物館も臨時休館いたしました。6月以降学内者の利用を再開しておりますが、一般のご利用は、現在まで引き続きお休みさせていただいております。ご迷惑おかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。

2021.1～ 収藏品図録 『KOREMITE』 vol.6 刊行!

学芸研究員が中心となって作成する当館の収藏品図録『KOREMITE』の第6巻を刊行しました!タナバタウマや絵馬など各地の民俗資料をはじめ、昭和初期に米国から贈られた「青い目の人形」、仙台の郷土史研究に欠かせない資料集など、博物館の秘蔵コレクションの「氷山の一角」をご紹介します! 詳しくは中面へ!



開催中! 企画展 「蔵品、御開帳。—私ノ『推シ』ヲ紹介シマス。—」

「KOREMITE」Vol.6の成果を紹介する企画展を、2021年3月から開催しています。当面は学内のみ限定公開ですが、もちろん状況が収まり次第一般の方々にもご覧いただきたいと思っております。またホームページ上でも展示を楽しんでいただけるようにする予定です。ぜひのぞいてみてください!



2020.12 オリジナルホームページの開設!

当館の秘蔵コレクションをはじめ、常設展や過去の企画展・特別展の情報、博物館で進められているプロジェクトなど、これまで以上に様々なミュージアム情報をどんどん発信していきます!ツイッターと併せてご利用ください。

<https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum/>



QRコードでアクセス!

2020.5 「おうちミュージアム」開設!

コロナ禍による臨時休校や在宅勤務の広がりをうけ北海道博物館のよびかけで全国に広まった、自宅にいながら博物館を活用してもらおうための「おうちミュージアム」プロジェクトに当館も参加しました。専用ページを設け、学芸研究員が当館のコレクションを題材に考案した、楽しく学べる数々のコンテンツを提供しています。詳しくは当館HPへ。



2020.8～2021.2 2020年度 博物館実習

2020年度も、博物館を活用して学芸員課程の実習授業を様々な形でこなされています。夏季休業期間を中心に実施した館園実習ではミニ展示を実習生が制作し、縄文時代から中世近世にいたるまでの日本の焼き物の歴史を、個性的な紹介パネルとともに展示する「焼き物の歴史」展をつくりあげました。



2019.10～ 民俗学コレクションの点検整理

かつて民俗学ゼミで収集した、東北をはじめとする全国各地の民具資料のコレクションを中心に、所蔵資料の再点検・整理作業を続けています。コレクションの数は膨大でしばしば時間がかかる予定です。現在開催中の企画展「蔵品、御開帳。—私ノ『推シ』ヲ紹介シマス。—」もその成果の一部で、今後も様々な形で成果をお知らせしていく予定です。



2020.10～ 河原町の商家・西村家資料の寄贈

明治・大正期を中心に、砂糖などの商売で財をなした仙台市内河原町の商家・西村家の資料が、当館にまとまって寄贈されることとなりました。商売の経営にかかる帳簿・書類、当時店内で使用されていた衣類や小道具・食器類など、近代の商家の暮らしを復原することができる貴重なコレクションです。こちらも順次整理作業を進めながら、公開へとつなげていきたいとおもいます。



2020年12月に刊行された『KOREMITE (コレミテ)』vol.6。

この制作の舞台裏を探るべく、編集を行った真柄さん・横山さんにインタビューをしてみました!

「そもそも『KOREMITE』とはなんですか?」

『KOREMITE (コレミテ)』は、東北学院大学博物館が収蔵するコレクションの図録です。ただし、一般的な図録と違うのは、当館で「学芸研究員」として働く大学院生や、学芸員課程を学ぶ学生たちが主体となって制作しているということ。彼らと教職員とがアイデアを出し合いながら刊行を重ねてきました。

「今回は6巻目とのことですが、何が収録されていますか?」

内容は、これまであまり展示などに使われず、博物館の収蔵庫で人知れず眠っていた資料を、学芸研究員各自の視点で改めて掘り起こし、「再発見」した資料の紹介をしています。民俗資料が主ですが、中には、2019年10月に関東・東北地方を襲った豪雨によって水損し、レスキューを行った資料もあります。

「表紙が素敵ですね。」

ありがとうございます。表紙のデザインを考えた学芸研究員によると、職員の娘さんが競技カルタをしていた、という話から着想を得たようです。

「どこに着想のヒントがあるか分かりませんが(笑)イラストも学生が?」

いえいえ、イラストを手掛けたのは、当館の前館長です。

「お上手ですね!中のページのデザインもかなり凝っていますね、全体的な制作工程はどのような感じだったのでしょうか?」

今回は学芸研究員が主体となって制作し

たので、「何を掲載するか」、「中をどのようなデザインにするか」などは学芸研究員同士で打ち合わせを重ね、教職員からアドバイザーをもらいながら大枠を決定していききました。その後、学芸研究員各自で取り上げたい資料について調べ、写真を撮影し、載せる原稿を執筆しました。また、実際の印刷は外注したので、業者の方と何回か打ち合わせ、「あんなデザインがいい」、「こんなフォントがいい」などなど沢山わがままを聞いていただきました(笑)企画から刊行までは、およそ



『KOREMITE』vol.6のキャラクターたちが応援! 博物館実習体験をすごろくでどうぞ!

「制作段階で大変だったことは?」

3か月くらいかかったと思います。いくつかあります(笑)例えば、掲載している「青い目の人形」という資料があるので、どうしても壊れやすいもので、写真の撮影に苦労しました。また、執筆する各学芸研究員は、大学院生でもあるので、自分の研究の

「逆に嬉しかったことは?」

一番は、刊行後「ご覧になった方に喜んでいただけました。特に、5巻目までよりも字のサイズをひと回り大きくしたので、高齢

の方には読みやすいと喜んでいただきました。学生にも評判のようで、来館時に持って帰っていただくことが多いです。

「これから掲載資料を展示するとお聞きしましたが。」

そうですね、企画展「蔵品、御開帳。―私ノ「推シ」ヲ紹介シマス。―」と題して、掲載資料を展示する予定です。掲載・展示資料は各学芸研究員の「推シ」でもありますが、展示を通じて、来館された方々の「推シ」が見つかる良いかと期待しています。

「ところで、『KOREMITE』vol.6はどこで手に入りますか?」

なるべく多くの方の手に取っていただけるよう、県内の公共施設や学校などに送付する予定です。また、当館のホームページでも公開していますので、インターネット環境をお持ちの方はぜひご覧いただきたいです。勿論博物館でも配布しておりますが、現在は新型コロナウイルス感染症防止のために学外者の来館はお断りさせていただいております。今後一般公開ができるようになりましたら、ぜひ展示をご覧になって、『KOREMITE』vol.6を手に入れていただきたいと思っています。

「貴重なお話しを、ありがとうございます!」

学芸研究員と申します!

はじめまして、私たち学芸研究員です。「『KOREMITE』vol.6の舞台裏」楽しんでいただけましたか?東北学院大学博物館では、全国的にも珍しい学芸研究員制度をとっており、文学研究科の大学院生が学芸員とともに博物館のスタッフとして資料の整理や調査研究を行っています。私たちの情報も合わせてチェック!

真柄 侑 (まがら ゆき) 専攻: 民俗学

横山 舞 (よこやま まい) 専攻: 考古学

石澤 夏巳 (いしざわ なつみ) 専攻: 日本近世史

展示解説に定評あり。資料はもろろん街歩きも。すぐにお腹がすく。燃費が悪い。フィールドワークに行きたくてうずうずしている。脱走しないように見張っておくこと。

低身長・低体温・低血圧の「3低」人間 震えていたら温かい紅茶をあげる。

好物は指導教員の敵...

好きな音楽を聞かせると機嫌が良くなる。 ※福山〇治が効果的!

研究室のチョコレートは絶対に切らさない

公式Twitter (@tgu_museum) 最多出演を誇る。博物館のアイデアマン。

この人なくて博物館あらず! 頼れるリーダー。